

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇児童アンケートや教職員アンケートの結果から、『「次はもっと頑張ろう。」と自分で目標をもって学習している』割合が8割を超えている。</p> <p>◇「子どもも教師も楽しい授業の追究」を研究主題とし、考えたい！やってみたい！が生まれる授業を目指してきた結果、保護者アンケートでも同様の項目に対する肯定的な回答が9割を超えている。</p>
	<p>◇全国学力・学習状況調査の結果から、ほぼ全ての学年で全国平均を下回っている。</p> <p>◇学力テストの分析から、国語では、共通の課題として漢字の読み書き、語句の抽出といった基礎的な読解スキルの不足。「書くこと」における目的や構成に応じた表現力の欠如。算数では、基礎計算（四則演算の性質、分数の計算など）の定着不足。「活用的な課題」や「論理的・批判的な思考力」を問う問題への対応力の低さが見られる。</p>
	<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇他者に対して自分の考え等を根拠とともに明確に説明しながら、対話や議論を通じて多様な相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることに課題がある。</p> <p>◇学力テストの結果からも自分の考えをもつための基礎的・基本的な知識・技能を、個別最適な学びを通して着実に獲得していくことを目指していく必要がある。</p>
<p>「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力</p> <h3>意味理解を伴った知識の習得と「本物の経験」の往還</h3>	
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて
	<p>(1) 課題探求的な学習の基盤となる基礎的な知識技能の習得を目指して、朝学習などのモジュール学習の時間を有効活用する方法を模索していく。</p> <p>(2) 教職員がお互いの授業案や授業自体を交流する機会を設定し、学ぶ喜びの実感を生み、主体的に学び続けようとする意欲を高める手立て等について、教職員自身がAARサイクルを回していけるようにする。</p>
	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>①よりよい学級、学校にするための学級活動、委員会活動の充実 →計画と報告を発表する係総会の実施</p> <p>→前期・後期で三役を変え、経験できる児童を増やす</p> <p>②自分たちの生活の場を振り返る場の設定 →学習や行事での頑張りを振り返り、キャリアパスポートにまとめる</p> <p>→Google フォームで生活や学習の振り返りアンケートの実施</p>
	<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について</p> <p>◇多様な人々と協働していくことを目指すために、ICTの活用や教師の関わりを通し、様々な方法で自分の考えを表現したり交流したりする場を増やしていく。</p> <p>◇AIドリルやオクリンクプラスなどの共同学習アプリを活用し、「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるようにする。</p> <p>◇Google フォームで生活や学習の振り返りアンケートを実施し、子どもたちの現状を教職員が把握し、課題や成果を分析し、日々の指導に活用していく。</p>

<本プログラムの実行に向けて>

